

〔展 望〕	頁
歐洲の天文家を訪ねて……………(萩原 雄祐)……………1	
惑星大氣の探索 I, II……………(村山 定男)……………6, 24	
誌上天文學普及講座……………(竹内 端夫)……………19	
白色矮星の話……………(大島 直明)……………35	
ミルン教授の追憶……………(萩原 雄祐)……………39	
彗星の雲の構造とその起源……………(高瀬 文志郎)……………40	
太陽コロナ観測の新方法……………(長澤 進午)……………45	
アメリカ便り II……………(藤田 良雄)……………46	
子午線の話……………(中野 三郎)……………51	
世界最大の岩石孔か……………(古畑 正秋)……………55	
新星の話……………(遠原 毅)……………56	
イタリアの天文現状……………(前山 仁郎)……………67	
中華民國內の天文學の現状……………(大澤 清輝)……………68	
恒星間物質の温度……………(高瀬 啓彌)……………69	
最近のソ連の天文學界……………(柳中 武夫)……………83	
何故掩蔽を観測するか……………(廣瀬 秀雄)……………85	
掩蔽観測紀行……………(眞鍋良之助)……………87	
掩蔽の光電観測……………(大澤 清輝)……………89	
1951年7月8日金星の掩蔽にお ける潜入、出現に要する時間……………(伊藤 結二)……………93	
コロナの測光はどのようにして いるか……………(長澤 進午)……………99	
春季年會講演アブストラクト……………102	
アメリカの天文家をたずねて……………(宮地 政司)……………115	
太陽の近くにおける恒星の運動……………(清水 龍)……………117	
冥王星の発見は偶然だったか……………(竹内 端夫)……………131	
太陽からの微粒子に関する討論……………134	
關口鯉吉博士を悼む……………(萩原 雄祐)……………147	
關口先生の思い出……………(川畑 幸夫)……………148	
關口先生を惜しむ……………(野附 誠夫)……………149	
浮游天頂儀雑話……………(服部 忠彦)……………150	
成長曲線……………(遠原 毅)……………163	
アメリカ便り III……………(藤田 良雄)……………171	
報時の現況……………(飯島 重孝)……………170	

〔雜 報〕	頁
1940年以後の小惑星の発見……………11	
電波による銀河系の構造……………11	
地球自轉速度の週期的變化……………12	
星の塵埃……………12	
太陽輻射の變化による氷河時代の説明……………13	
南阿ブレトリアの 74 時鏡……………28	
楔光度計の改良型……………28	
シーイングの解析……………28	
赤外域の太陽周邊減光の測定……………29	
惑星狀星雲 I C 4186……………29	
海王星の直徑……………30	
1949年に於ける小惑星の発見……………39	
新刊ケープ星表……………61	
新星の組織的探索……………61	
月に依る鉛直線の方角の變化……………62	
1950年に於ける望遠鏡短信……………76	
高感度の光電増幅管……………76	
2月25, 26日における太陽面と太陽電波の異常……………76	
太陽大氣の衝撃波……………77	
星の種類と化學組織……………77	
天文常數に関する協議……………108	
明年2月15日の日食観測計畫……………109	
夜光の赤外輻射……………109	

秋季年會講演アブストラクト	183	頁
〔海外論文紹介〕		
銀河系内の恒星の偏光(古畑正秋, 高瀬啓彌)	167	
天文常數に就いて(安田 春雄)	123	
太陽M領域の本質について(難波 収)	137	
太陽面の磁場の測定(宋元普三郎)	138	
小惑星の Family の問題の再検討	154	
分光測光法による皆既日食の接觸時刻の決定(廣瀬 秀雄)	167	
準矮星の銀河系内における運動(北村 正利)	169	
ロケットによる太陽極端紫外部の研究(柳中 武夫)	187	
〔Guiding Telescope〕		
天體曆, 水晶時計	10	
O-C, 色超過	27	
干渉單色光フィルター, 復活祭	44	
プロフィール, 天文電報	60	
流星寫眞機, 衝突	74	
入海, シンチレーション	92	
絶対等級, 會合周期	106	
アルベド, サーボメカニズム	122	
スターカウント, 超新星	140	
マッキューリー, 禁制線	157	
パーセク, スペクトロヘリオグラフ	172	
タービュレンス, バトロール	188	
〔寄 書〕		
明治7年金星日面經過の横濱及び東京における観測(神田 茂)	75	
在所岩石について(村山 定男)	108	
〔新刊紹介〕		
相田八之助 天文学史物語	78	
東亞天文學會編 天體觀測の手引	78	
鈴木敬信 宇宙の本質	141	

	頁
彗星だより	109
變光星野を通過する小惑星	109
極めて周期の長い食變光星	126
アリューシャンでの日食電波観測	126
日食研究連絡委員會の英文報告	126
難波による月の位相曲線	141
1950年の彗星の軌道要素	142
地球自轉速度の變化	158
各地の公衆天文臺	159
流星観測用スーパー・シュミット・カメラ	173
シベリア沿海洲に落下した隕鐵	173
惑星大氣の水素分子のスペクトル	173
表面で爆發する星	173
最近発見された新彗星	189
太陽スペクトル總合研究委員會シンポジウム	189
1952年の東京で見える掩蔽	189
〔ニュース〕	34, 66, 84, 91
〔本會記事〕	
	2, 18, 34, 50, 66, 82, 98, 114, 130, 146, 162, 178
〔地方通信〕	114, 130, 162, 178
〔會員諸氏の觀測報告〕	31, 47, 79, 127, 175
〔暦象及び天象〕	14, 15, 16, 32, 48, 63
	64, 80, 93, 96, 112, 128, 143, 144, 160, 176, 189, 192